

◆ 著者紹介

高柳 彰夫（たかやなぎ あきお）

東京都生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得。博士（法学）。NGO 活動推進センター（JANIC: 現：国際協力 NGO センター）パートタイム・スタッフ（調査・研究担当）、北九州市立大学外国語学部国際関係学科専任講師・助教授を経て、現在フェリス学院大学グローバル教養学部・国際交流学部教授。また JANIC 政策アドバイザー。

主要著書

『カナダの NGO —政府との「創造的緊張」をめざして』（明石書店、2001年）

『グローバル市民社会と援助効果—CSO/NGO のアドボカシーと規範づくり』（法律文化社、2014年）

『SDGs を学ぶ—国際開発・国際協力入門』（共編著、法律文化社、2018年）

『入門 SDGs —持続可能な開発の到達点と2030年への課題』（共編著、法律文化社、2024年）

“Civil Society Organizations as Partners and Critics of Japan’s Aid Policy,” Kwon, H., T. Yamagata, E. Kim, and H. Kondoh eds., *International Development Cooperation of Japan and South Korea: New Strategies for an Uncertain World*, Singapore: Palgrave Macmillan, 2022.